

# 2012年度の取り組み状況

## 第3次連結中期CSR計画の取り組み実績と課題（2010年度～2012年度）

CSR経営・環境経営の取り組みは、「第3次連結中期CSR計画（2010年度～2012年度）」にもとづき、①CSR推進体制の機能向上、②安全管理の強化、③人権/人事施策の充実、④環境対応策の推進、⑤社会に応えるコミュニケーション活動の推進を5つの重点項目としました。

全体として、定性的な目標に対しては概ね達成し、定量

的な目標に対しては、②安全管理の強化、③人権/人事施策の充実で、一部未達成のものがありません。CSR経営の理念については浸透・定着しつつありますが、今後はそれらの理念にもとづいたCSR活動の定着を強化し、実行・実践を推進していきます。

## 第3次連結中期CSR計画（2010年度～2012年度）と2012年度の取り組み状況 ⑦

重点項目	テーマ	主な活動施策・目標	2012年度の実績
CSR推進体制の機能向上	実践度向上のための組織体制の強化	CSR推進責任者/担当者の選任および役割の再確認によるグループ全体のCSR推進体制のレベルアップ	・CSR推進責任者・担当者を通じ6委員会の活動内容周知、自部署・会社への展開を実施
	企業行動指針の認識度・理解度のさらなる向上	・定期的な社内研修（企業倫理研修）の継続 ・モニタリング（CSR調査）の実施	・社内研修（企業倫理研修）を2012年10月～2013年2月に実施（3,798名参加） ・2012年11月に実施したCSR調査結果を周知
	社規・マニュアル類に準拠した効率的な業務の推進	・社内インフラの活用などによる業務の平準化・簡素化および情報管理強化	・決裁権限規程細則を7月に改定（確認者・承認者の役割を明記） ・内部者取引防止規程を11月に改定 ・社用印章取扱規程の改定（捨印の押印禁止等を明記）
	危機管理体制の再構築	・全社横断的なリスク洗い出しおよび対策策定の継続 ・教育訓練（BCP）の継続実施	・全社横断的なリスク洗い出しおよび対策策定の見直しを3～4月に実施 ・首都直下型地震および東海・東南海・南海の3連動型地震を想定した教育訓練（BCP）を2013年3月に実施
安全管理の強化（第3次連結中期安全計画） ⇒詳細は、P28を参照	事故削減の定量目標を設定し実績を評価・改善することで安全レベルの向上を図る	<製油所・コスモ山石石油> 事故ゼロの達成・維持（2010年度：不安全不具合*1発生件数の基準年比*2 90%以上削減）	・製造部門：不安全不具合の発生件数が基準年比微減（基準年117件、2012年112件） ・アスファルト漏洩事故の再発防止策を実施
		<その他部門（各事業所/グループ会社）> 労働災害ゼロ/削減、事故・トラブルゼロ/削減など、安全管理活動の維持・発展	・物流部門：労災4件、事故9件（混油5件、海難2件、交通事故1件、漏洩1件） ・販売・その他部門：労災計16件、トラブル6件
人権/人事施策の充実（第3次連結中期人権/人事計画） ⇒詳細は、P32を参照	人権尊重：ハラスメント防止、差別意識の撤廃	人権研修受講率 80%以上	人権研修受講率 87%で達成
	多様性尊重・機会均等：公正な採用を継続	障がい者雇用率の維持向上（法定1.8%以上）	コスモ石油：2.20%で達成
	心身のヘルスケア増進：過重労働の禁止、特定健康診断の実施	長時間勤務者の漸次削減	長時間勤務者増で未達成（2011年度446名→2012年度478名）
環境対応策の推進（第4次連結中期環境計画） ⇒詳細は、P34を参照	事業継続を踏まえた地球温暖化防止への戦略的対応	・2012年度において現在の事業領域（原油生産、原油輸送、精製および製品輸送・貯蔵）における排出量の約3%に相当する22万t-CO <sub>2</sub> /年以上のCO <sub>2</sub> 削減（施策実施前との比較。風力発電事業によるCO <sub>2</sub> 削減寄与分を含む）	・▲27.8万t-CO <sub>2</sub> 削減/年で達成（千葉製油所の不稼働による生産減に伴うCO <sub>2</sub> 削減は含まず） ・省エネ法・温対法にもとづく温室効果ガス排出量をとりまとめ、報告書を提出
	環境負荷の低減	・通常運転、非正常作業時等における環境課題の抽出と対策の実施 ・産業廃棄物の削減：最終処分率目標の達成（コスモ石油：0.5%未満、対象会社：計5.0%未満） ・内部監査・外部監査の充実による環境管理の徹底 ・土壌環境対応の徹底 ・エコオフィス活動の推進（グループ全体：コピー用紙▲9%、社有車燃料▲6%、オフィス電力▲7% ※2007年度～2009年度の実績平均比） ・グリーン購入の推進	・継続中5件のうち、3件の対策を実施、1件中止、1件未完了 ・最終処分率の目標達成（コスモ石油：0.23%、対象会社：1.98%） ・内外監査、環境巡察を実施 ・各サイトの環境影響に応じた土壌浄化、モニタリング、設備管理を計画通り実施 ・グループ全体で目標達成、コピー用紙は一部で未達成 ・非グリーンサプライヤーのフォローアップ実施
	環境貢献活動の推進	・コスモ石油エコカード基金を通じた環境貢献活動の推進 ・生物多様性の保全	・エコカード基金の全14プロジェクトを実施し、会員参加のエコツアーを開催 ・企業間勉強会における「森づくりガイドライン」編集・政策への参画
社会に応えるコミュニケーション活動の推進	ステークホルダーからの評価を踏まえた効果的なコミュニケーション活動の実現	お客様、地域社会、株主・投資家、国際社会など、さまざまなステークホルダーに対するコミュニケーション活動を継続	・「コスモの森」活動を堺市、松山市で実施 ・堺市、坂出市で「ファミリーコンサート」開催 ・クリスマスカード730枚を12の病院に贈る ・「グリーンキャンペーン」39ヵ所で14,372名

\*1 コスモ石油グループでは、石油コンビナート等災害防止法に定める異常現象およびこれにいたらないトラブル・不具合、労働災害などを「不安全不具合」と定義しています。

\*2 基準年：2006年9月～2007年8月

## CSR活動方針の概要および課題、目標（2013年度～2017年度）

コスモ石油グループは、2013年度からの「第5次連結中期経営計画（2013年度～2017年度）」のスタートに伴い、コスモ石油グループ企業行動指針にもとづいた『CSR活動方針（2013年度～2017年度）～ココロと安全の「満タン活動」～』を策定しました。すべてのコスモグループ社員にCSR経営について身近に感じてもらうために、「連結中期CSR計画」から「CSR活動方針」とし、さらに慣れ親しんでいる「ココロも満タンに」を引用して“ココロと安全の「満タン

活動」というサブタイトルを掲げました。

重点項目については、「第3次連結中期CSR計画」の進捗と反省に鑑みて、5つの重点項目を設定しました。そのなかで、最重点項目を「安全管理施策の徹底」と「誠実な業務遂行」としました。「連結中期経営計画」と「CSR活動方針」は表裏一体をなすものであり、全社員が「連結中期経営計画」の達成に向けて、安全かつ誠実に業務を遂行し、継続して社会に貢献できるコスモ石油グループをめざしていきます。

※ 達成度：A 達成 B 一部達成 C 未達成

2010年度～2012年度の総括	達成度
概ね目標通りに実施し、CSR推進のための組織体制、活動内容は定着	A
不安全不具合発生件数の削減90%の目標は未達成	C
その他は前年比削減など概ね目標を達成	
人権研修 80%以上受講達成	B
障がい者雇用率改善	
長時間勤務者の削減未達	
有休取得率改善	A
目標24万t-CO <sub>2</sub> /年以上を達成	
産業廃棄物目標、電力削減ともに達成	
エコカード基金プロジェクトの継続	A
・「コスモの森」活動を千葉、堺製油所、コスモ松山石油で継続中 ・各地で「ファミリーコンサート」開催 ・クリスマスカードを4,834枚、延べ54の病院に贈る ・クリーンキャンペーンを実施（116カ所、45,018名参加）	

### ゴールビジョンと活動テーマ

#### 2017年度のゴールビジョン

信頼に応え、継続して社会に貢献できる  
コスモ石油グループとなる

#### 活動テーマ

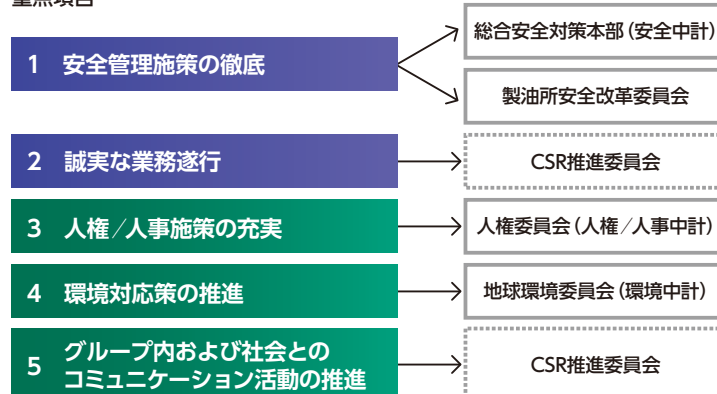


毎年の具体的な活動テーマは、CSR推進委員会にてグループ全体の活動を評価したうえで再設定します

**安全とは**、ルール（法・社会規範）を守り、安定して事業を継続すること  
**誠実とは**、すべてのステークホルダーに対してその姿勢を示すこと  
**自発性とは**、社員一人ひとりが自ら企業行動指針の理念を実践し業務に取り組むこと

### CSR活動方針の重点項目

#### 2013年度～2017年度 CSR活動方針の重点項目



- ゴールビジョンの実現のために活動の重点項目を5項目設定しました。
- 第3次連結中期CSR計画でも重点項目であった「安全管理の強化」を「安全管理施策の徹底」として最重点項目としました。
- 安全な事業継続のためには誠実な業務遂行は欠かせないものとして、「誠実な業務遂行」も最重点項目としました。
- コミュニケーション活動は、社外はもちろんのこと、グループ内でも強化していきます。